

The background is a dark blue gradient with faint, light blue technical diagrams. On the left, there is a large circular scale with numerical markings from 160 to 260 in increments of 10. Several circular diagrams with arrows and dashed lines are scattered across the background, suggesting a technical or scientific theme.

創造主を拒絶したのに

2015/12/6

アドヴェント第2週

神であり創造主であった(ある)キリスト

「初めに言があった。言は神と共にあった。
言は神であった。」(1)

- 「言(ことば)」とは“ロゴス”である
 - 原語や話したり書いたりする「言葉」ではない！
 - ギリシャ哲学で使われていた用語で、天地万物の起源である知恵、原理を表す単語である
 - 人となられる前のキリストを表している
- ロゴスは神である
 - “初めに”とは時間が始まる前の意味
 - “共に”は「一緒に」ではなく「同一」の意味
- ロゴスは創造主である
 - 「万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」(3)

神であり創造主であった(ある)キリスト

「初め
あった

・「言

・

・

・

・ **ロー**

・

・

・ **ロー**

神で

この世界が造られる前から

キリストはおられた。

キリストは神と同一であられた。

キリストは神であられた。

景

・「万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」(3)

キリストだけがまことの光である

「言(ロゴス)の内に命があった。命は人間を照らす光であった。」(4)

「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。」(9)

- 神であるロゴスだけが「永遠の命」を持っておられる
 - 「命」: “ゾーエー”(永遠) <> “プシュケー”(一時的)
- 「永遠の命」こそが人間にとっての「まことの光」である
 - 人間は罪が支配する「暗闇」の世界にいる
 - 人間の命は終わりがあり、やがて消えさってしまう
 - ロゴス(キリスト)は「永遠の命」をもってこの世に来られ、すべての人を照らされる

ロゴス
(キリスト)

永遠の命



世は創造主を受け入れなかった

「言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。」(10)

「言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」(11)

- **ロゴスは被造物とともにあったが誰も気づかなかった**
 - 「世にあった」: 世にあり続けた
 - 「認めなかった」: 知らなかった・気づかなかった
- **ロゴスはご自分が造られた民のところへ来られたが、民は彼を受け入れなかった(拒絶した)**
 - 知らずに受け入れなかった人: 宿屋の主人
 - 知っていて殺そうとした: ヘロデ王・ユダ・律法学者・祭司たち
 - 知らずに殺した人: 群衆

世は創造主を受け入れなかった

「言は... 世は言
を認め
「言は... な
かった

この世界の創造主が人となって

この世に来て下さったのに、

人間はキリストを受け入れず、

殺してしまいました！

• ロゴ

• 「

• 「

• ロゴ

民は

• 知

• 知っていて殺そつとした: ヘロデ王・ユダ・律法字者・祭司たち

• 知らずに殺した人: 群衆

ロゴス
(キリスト)

永遠
の命

それなのにロゴスは...！

「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」(12)

- この「しかし」に世界の希望がある！
 - もし「受け入れなかった」民をロゴスが見捨てられたら？
- ロゴスを「受け入れた人」「(神と)信じた人」には
 - 人類全体としては、受け入れなかったけれど、受け入れることができたなら
 - 受け入れた人：羊飼い・東方の博士・弟子たち(復活後)
- ロゴスは最高のプレゼントを与えて下さる
 - 「神の子となる資格」=神様が本当の親となって永遠に愛し続けて下さる！

ロゴス
(キリスト)

永遠
の命

